



令和6年3月11日

北九州市環境局

報道機関各位

サーキュラーエコノミーの推進プロジェクトが始動！

～「北九州循環経済ビジョン推進協議会」にて新たに分科会を設置します～

北九州市には、日本最大級のリサイクル産業の集積である北九州エコタウンがあります。北九州市は、北九州エコタウンを含めた環境産業の更なる発展を図るために、循環経済（サーキュラーエコノミー※¹）を推進しており、市内に事業所を有する企業や大学とともに、産学官の連携組織「北九州循環経済ビジョン推進協議会（以下、「協議会」という）」※²を令和4年6月に設立しました。

この度、協議会の総会を開催し、資源循環における具体的な事業化案件を創出するためのプロジェクトチームである分科会を新たに立ち上げることになりましたので、お知らせします。

今後は、各分科会において、産学官が連携し市内を中心とした資源循環の事業化を目指した動きを加速させていきます。

※1 サークュラーエコノミー

将来的な資源制約や環境問題等を背景に、消費された資源を回収し再生・再利用し続けることで、資源・製品の価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑止等による経済成長を目指す構想。

※2 北九州循環経済ビジョン推進協議会

令和4年2月に市内環境関連企業を中心とした北九州循環経済研究会においてサーキュラーエコノミーの概念の下で北九州の環境産業が目指すべき方向性を示した「北九州循環経済ビジョン」を作成。本市でビジョンの実現に取り組むことで、地域一体となった資源循環エリアを創出していくことを目的に設立

記

1 協議会総会について

日時：令和6年3月13日（水） 15:00～17:00

場所：西日本総合展示場 315 会議室

2 各分科会の内容

添付資料をご参照ください。

※協議会総会及び各分科会の詳細については、下記までお問い合わせください。

「北九州循環経済ビジョン推進協議会」分科会内容

1 「バイオマス利活用(エネルギー化、肥料化)研究」分科会

<概要>

若松区を中心とした有機系地域資源のリサイクルによる自然循環経済構築を目指す。

<参加者>

株式会社 chaintope、株式会社ウエルクリエイト、
公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES: アイジェス)、響灘菜園株式会社、
NTTビジネスソリューションズ株式会社、株式会社響灘火力発電所、
株式会社北九州 SDGs ソーシャルファーム、九州電力株式会社北九州支店、Nature

2 「竹資源の循環プロジェクト」分科会

<概要>

放置竹林対策と竹資源の有効活用を目的に、竹の繊維を加工したセルロースナノファイバーを始めとする竹由来の材料など、付加価値のある素材を作成し、その事業化および用途展開についての検討を行う。

<参加者>

九州工業大学、株式会社三和技巧、一般社団法人森人未来ノ研究所、
シャボン玉石けん株式会社、北九州市農林課

3 「太陽光発電パネルリユース」分科会

<概要>

近い将来、大量の廃棄発生が懸念される太陽光発電パネルのリユースにおけるビジネスモデル確立を目指す。

<参加者>

株式会社浜田、北九州市立大学、北九州市環境イノベーション支援課

4 「廃コンクリートの炭酸塩化利活用」分科会

<概要>

セメント工場から排出されるCO₂の回収・炭酸塩化技術をベースとした廃コンクリートにCO₂を固定化したリサイクル品の公共事業を含めた建設工事に適用していくためのビジネスモデル確立を目指す。

<参加者>

UBE三菱セメント株式会社、北九州市環境イノベーション支援課

5 「情報プラットフォーム」分科会

<概要>

情報プラットフォームを活用した再生材の信頼性を担保したビジネスモデル確立を目指す。

<参加者>

北九州市立大学、株式会社新菱、一般社団法人資源循環ネットワーク